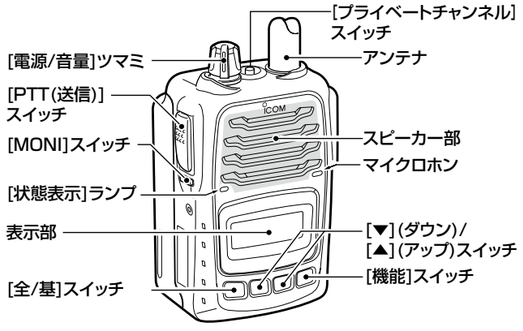
ICOM 操作・設定ガイド

携帯型デジタル簡易無線機

IC-D50

本書は、IC-D50の操作・設定ガイドです。
基本的な運用手順と個別呼び出し機能を使用したシステム構成例などを説明しています。

基本的な運用手順について



❶ 電源を入れる

[電源/音量]ツマミを時計方向に回して電源を入れます。
●ピープ音が**「ピー」**と鳴って、前面部のスイッチの照明が約5秒点灯します。

❷ 音量を調整する

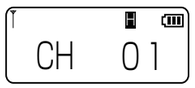
相手局の音声が大きすぎたり、小さすぎたりしたときは、**[電源/音量]**ツマミを回して聞きやすい音量に調整します。
※**[電源/音量]**ツマミを時計方向に回すと、音量が大きくなり、逆方向に回すと音量が小さくなります。

音量設定中の表示

【音を聞きながら音量を調整するには】
[MONI]スイッチを押しながら、聞きやすい音量に調整します。
※設定により、動作が異なる場合があります。

❸ 通話チャンネルを選択する

[▼](ダウン)スイッチ/**[▲]**(アップ)スイッチを短く押すごとに、チャンネルがダウン/アップします。
※1～30チャンネルのあいだで設定できます。

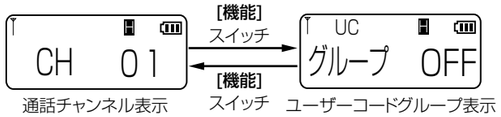


通話チャンネル表示

※15チャンネル(CH15)は呼出用チャンネルとなっています。
呼出用チャンネルでは、個別呼び出し、ユーザーコード機能、秘話機能を設定した通話ができませんので、ご注意ください。

❹ ユーザーコードを選択する

①**[機能]**スイッチを短く押すごとに、「通話チャンネル表示」と「ユーザーコードグループ表示」が切り替わります。



通話チャンネル表示　　ユーザーコードグループ表示

※通話チャンネルごとに異なるユーザーコードが設定されている場合は、上記の操作はできません。
通話チャンネル共通の設定に変更する場合は、IC-D50取扱説明書の「5 セットモードについて」に記載の「ユーザーコードの設定」(☞P28)を参考にユーザーコードの設定を変更してください。

❹ ユーザーコードを選択する(つづき)

②**[▼]**(ダウン)スイッチ/**[▲]**(アップ)スイッチを押して、ユーザーコードグループ番号を選択します。
※「OFF」、「1～511」の範囲で設定できます。
③**[機能]**スイッチを押すと、ユーザーコードグループ番号を設定して、ユーザーコードグループ表示を解除します。
※すべての無線機のユーザーコードを「OFF」、または同じユーザーコードに設定します。
※ユーザーコードを「OFF」に設定すると、すべてのユーザーコードの通信を受信します。(ユーザーコードを「OFF」にした局の通信は、ユーザーコードを「OFF」以外に設定した局では受信しません。)
※混信が発生する場合、すべての無線機のユーザーコード、またはチャンネルを別の値に変更してください。

❺ 送話と受話

[PTT(送信)]スイッチを押すと、送話できます。
はなすと受話状態に戻ります。

【[状態表示]ランプの状態】
● 消灯　　：待ち受け時
● 緑色に点灯：信号受信時
● 赤色に点灯：送信時

【マイクロホンの使いかた】
◎**[PTT(送信)]**スイッチを押すと、**「ピッ」**、または**「ピピッ」**という音が鳴ります。
そのあとマイクロホンに向かって話してください。
◎マイクロホンに向かって話すときは、マイクロホンと口元を約5cmはなし、普通に会話する大きさの声で通話してください。
マイクロホンを口元に近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、めいりょう度が悪くなることがありますのでご注意ください。

[状態表示]ランプが緑色に点灯中は、混信防止(キャリアセンス)機能によって送信できない場合があります。

【送信時間制限装置について】
1回の送信で連続して通話できる時間は、**「5分以内」**と電波法で定められています。
送信時間制限**10秒前**になると、ピープ音が**「ピッ」**と鳴ります。
連続通話時間が5分になると、警告音が**「ブッ」**と鳴って、自動的に送信を停止します。
※送信を自動停止すると、1分間は通話できません。
1分後に**[PTT(送信)]**スイッチを押すと、再度呼び出しできます。

❻ 電源を切る

使用しないときは、**[電源/音量]**ツマミを反時計方向に**「カチッ」**と鳴るまで回して、電源を切ってください。

■ ロック機能について

電源を入れなおしたり、不用意に無線機のスイッチに触れたりしても、設定や表示が変わらないようにする機能です。
◎**[機能]**スイッチを長く押すと、**「ピピッ」**と鳴って、表示部に「🔑」が点灯します。
同じ操作をすると、ロック機能を解除します。

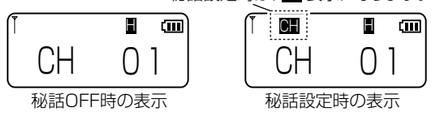
〈ロック中にできる操作〉
◎電源の「ON」/「OFF」　◎ロック機能の「ON」/「OFF」
◎送話/受話の切り替え　◎モニター機能の「ON」/「OFF」

秘話機能や個別呼び出し機能を使用した運用について

1 秘話機能を使用する

本製品は、32767とおりの秘話キー(00001～32767)に対応しています。
秘話キーは、あらかじめ設定されている最大16種類(1～16)のキーIDに設定されていますので、相手と同じ秘話キーが設定されているキーIDを選択することで、交信できます。
キーIDと秘話キーの設定は、「詳細セットモード」から変更できます。
※秘話機能(キーID、秘話キー)の設定方法は、IC-D50取扱説明書の「5 セットモードについて」に記載の「秘話機能の設定」(☞P21、P25、P26)ご覧ください。
※秘話キーは、工場出荷時の値から変更して使用されることをおすすめします。
秘話キーの一括設定をする場合は、販売店にご依頼ください。

秘話設定時は、CH 表示になります。



秘話OFF時の表示　　秘話設定時の表示

秘話機能を「ON」にして送信した場合、秘話機能が「OFF」、または秘話キー(00001～32767)の異なる無線機で受信すると、音声が出ない、または音声にならない音が出ます。
※通常は、秘話機能の「ON」/「OFF」、および秘話キーは、すべての無線機で同じ設定にしてください。
※呼出用チャンネル(チャンネル15)では、秘話機能を使用できません。
※秘話キーが同じ相手であれば、キーID(1～16)が異なる場合でも交信できます。
※ユーザーコードや個別番号が一致していても、秘話キーの設定が異なると、受信側の動作が異なります。　(下表参照)

【秘話設定と受信側音声出力の関係】

送信側＼受信側	秘話OFF	秘話ON
秘話OFF	○(送信側の音声)	○(送信側の音声)
秘話ON	×(スピーカーから何も聞こえない)	○【秘話キーが一致】(送信側の音声)
		×【秘話キーが不一致】(音声にならないため聞き取れません。)

2 個別呼び出し機能を使用する

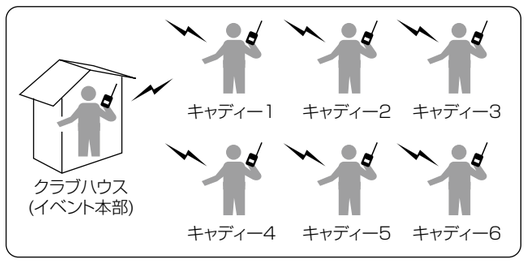
◎個別呼び出し機能を使用すると、高度なグループ分けができたり、無線機を個別に呼び出したりできます。
◎個別呼び出し機能は、ゴルフ場、イベント会場、工事現場のような中規模、大規模システムに適しています。
◎ここでは、個別呼び出し機能の使用例を解説します。
個別呼び出し機能を使用される場合の参考にしてください。

※個別呼び出し機能を使用する場合は、「個別呼び出し設定」を「ON」にしてください。
個別呼び出し機能の設定方法は、IC-D50取扱説明書の「5 セットモードについて」に記載の「個別呼び出し設定」(☞P21、P28)をご覧ください。
※個別呼び出し機能は、お使いになるすべての無線機で同じ設定にしてください。

■ 無線機の設定

チャンネルおよび秘話キーは、送信側と受信側で同じ値に設定します。
また、ユーザーコードはすべての無線機で同じ設定(OFFを含む)にしてください。
※ユーザーコードが「OFF」の局は、ほかの局からの音声が聞こえます。(ユーザーコードが「OFF」の局からの音声は、「OFF」以外に設定した局には聞こえません)
※本製品は、通話チャンネル、個別番号、グループ番号に全角4文字まで(半角8文字まで)の名称が設定できます。
設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

(設定例1：ゴルフ場で使用する場合)
クラブハウス(イベント本部)とキャディー(キャディー1～キャディー6)が連絡を取り合う場合の設定です。
パーティーごとにキャディーが同行するときに、クラブハウスから各キャディーに個別に指示を出したり、各キャディーがクラブハウスに連絡したりする場合の設定です。
※グループ分けするときの設定例は、本書裏面(設定例2：イベント会場で使用する場合)をご覧ください。
※呼出用チャンネル(チャンネル15)では、個別呼び出し機能を使用できません。
※混信が発生する場合、すべての無線機のユーザーコードまたはチャンネルを別の値に変更してください。



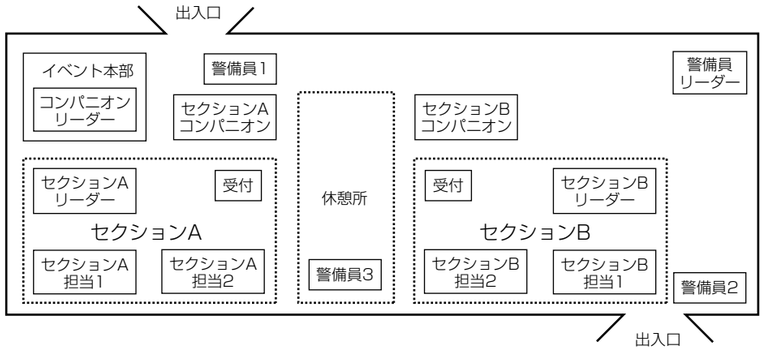
【共通設定】
CH：01、ユーザーコード：001、秘話OFF

無線機＼設定	自局番号	基地局番号	終話後表示
イベント本部	自局0001	基地0001	全体
キャディー1	自局0010	基地0001	基地
キャディー2	自局0011	基地0001	基地
キャディー3	自局0012	基地0001	基地
キャディー4	自局0013	基地0001	基地
キャディー5	自局0014	基地0001	基地
キャディー6	自局0015	基地0001	基地

2 個別呼び出し機能を使用する(つづき)

■ 無線機の設定(つづき)

(設定例2：イベント会場で使用する場合)
イベント会場では、1つの会場内にさまざまな役割のスタッフが混在します。
マルチグループ(複数のグループを構築)にすることで、効率よく指示できます。
また、設定により複数のグループに同時に指示できます。

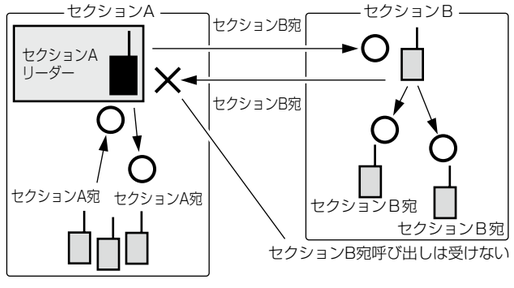


【共通設定】
CH：01、ユーザーコード:001、秘話OFF、終話後表示：優先個別番号

設定 / 無線機	自局番号	基地局番号	グループ0001 (リーダー)	グループ0002 (セクションA)	グループ0003 (セクションB)	グループ0004 (コンパニオン)	グループ0005 (警備員)	優先個別番号
イベント本部	自局0001	基地0001	メンバー	グループ	グループ	グループ	グループ	グループ0001
コンパニオン リーダー	自局0050	基地0001	メンバー	グループ	グループ	メンバー	グループ	グループ0001
セクションA リーダー	自局0010	基地0001	メンバー	メンバー	グループ	グループ	グループ	グループ0002
セクションA 担当1	自局0011	基地0010	グループ	メンバー	グループ	グループ	グループ	グループ0002
セクションA 担当2	自局0012	基地0010	グループ	メンバー	グループ	グループ	グループ	グループ0002
セクションA コンパニオン	自局0051	基地0050	グループ	メンバー	グループ	メンバー	グループ	グループ0002
セクションB リーダー	自局0020	基地0001	メンバー	グループ	メンバー	グループ	グループ	グループ0003
セクションB 担当1	自局0021	基地0020	グループ	グループ	メンバー	グループ	グループ	グループ0003
セクションB 担当2	自局0022	基地0020	グループ	グループ	メンバー	グループ	グループ	グループ0003
セクションB コンパニオン	自局0052	基地0050	グループ	グループ	メンバー	メンバー	グループ	グループ0003
警備員リーダー	自局0040	基地0001	メンバー	グループ	グループ	グループ	メンバー	グループ0005
警備員1	自局0041	基地0040	グループ	グループ	グループ	グループ	メンバー	グループ0005
警備員2	自局0042	基地0040	グループ	グループ	グループ	グループ	メンバー	グループ0005
警備員3	自局0043	基地0040	グループ	グループ	グループ	グループ	メンバー	グループ0005

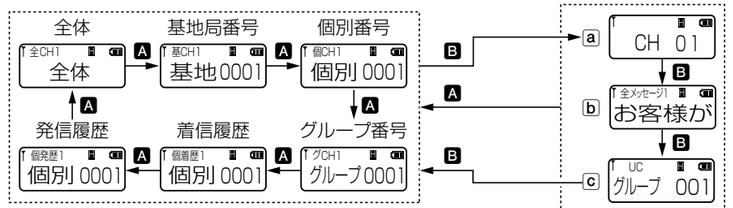
【メンバー設定について】
グループのメンバーに参加/不参加を設定することにより、複数のグループからの呼び出しを受けられます。
※メンバーに参加していないグループの場合も、そのグループを選択して呼び出せます。
設定は、IC-D50取扱説明書の「5 セットモードについて」に記載の「グループ設定」(☞P29)ををご覧ください。

(メンバー設定での使用例)
セクションAのリーダーは、セクションAのメンバーになっているので、セクションA宛の呼び出しを受けられます。
セクションAのリーダーは、セクションBのメンバーにはなっていないので、セクションB宛の呼び出しは受けられませんが、必要に応じてセクションBを選択して呼び出せます。



■ 表示の流れ

※ **[全/基]**、**[機能]**スイッチを押すごとに、右図のように表示が切り替わります。
※「着信履歴」、「発信履歴」、「ショートメッセージ」を表示させる場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



A：**[全/基]**スイッチ　ⓐ：通話チャンネル表示　ⓑ：メッセージ表示
B：**[機能]**スイッチ　ⓒ：ユーザーコードグループ表示

■ 呼び出しかた(例)

◎ 全体呼び出し(すべての無線機を呼び出す)

(例)「(設定例2：イベント会場で使用する場合)」のすべての無線機を呼び出す場合
①**[機能]**スイッチを短く押して、通話チャンネル表示にします。
②**[▼]**(ダウン)スイッチ/**[▲]**(アップ)スイッチを押して、通話チャンネル番号を「CH01」に設定します。

通話チャンネル表示

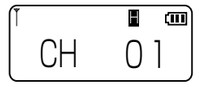
③**[全/基]**スイッチを短く押して、「全体」(全体呼び出し)を選択します。

全体表示

④**[PTT(送信)]**スイッチを押すと、**[状態表示]**ランプが赤色に点灯します*。
[PTT(送信)]スイッチを押しながらマイクロホン部に向かって呼びかけると、すべての局と交信できます。

◎ グループ呼び出し(特定のグループだけを呼び出す)

(例)「(設定例2：イベント会場で使用する場合)」の「セクションAグループ」を呼び出す場合
①**[機能]**スイッチを短く押して、通話チャンネル表示にします。
②**[▼]**(ダウン)スイッチ/**[▲]**(アップ)スイッチを押して、通話チャンネル番号を「CH01」に設定します。



通話チャンネル表示

③**[全/基]**スイッチを短く押して、「グループ××××」(グループ呼び出し)を選択します。
※××××は表示されたグループ番号です。

グループ番号表示

④**[▼]**(ダウン)スイッチ/**[▲]**(アップ)スイッチを押して、グループ番号を「グループ0002」に設定します。
⑤**[PTT(送信)]**スイッチを押すと、**[状態表示]**ランプが赤色に点灯します*。
[PTT(送信)]スイッチを押しながらマイクロホン部に向かって呼びかけると、「セクションAグループ」のメンバーに設定されている局と交信できます。

◎ 基地局呼び出し

(例)「(設定例2：イベント会場で使用する場合)」の「セクションAリーダー」が「イベント本部」を呼び出す場合
①**[機能]**スイッチを短く押して、通話チャンネル表示にします。
②**[▼]**(ダウン)スイッチ/**[▲]**(アップ)スイッチ押して、通話チャンネル番号を「CH01」に設定します。

通話チャンネル表示

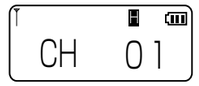
③**[全/基]**スイッチを短く押して、「基地0001」(基地局呼び出し)を選択します。

基地局番号表示

④**[PTT(送信)]**スイッチを押すと、**[状態表示]**ランプが赤色に点灯します*。
[PTT(送信)]スイッチを押しながらマイクロホン部に向かって呼びかけると、基地局設定されている「イベント本部」と通信できます。

◎ 個別呼び出し(特定の無線機だけを呼び出す)

(例)「(設定例2：イベント会場で使用する場合)」の「セクションBリーダー」を呼び出す場合
①**[機能]**スイッチを短く押して、通話チャンネル表示にします。
②**[▼]**(ダウン)スイッチ/**[▲]**(アップ)スイッチ押して、通話チャンネル番号を「CH01」に設定します。



通話チャンネル表示

③**[全/基]**スイッチを短く押して、「個別××××」(個別呼び出し機能)を選択します。
※××××は表示された個別番号です。

個別番号表示

④**[▼]**(ダウン)スイッチ/**[▲]**(アップ)スイッチを押して、「個別番号」を「個別0020」に設定します。
⑤**[PTT(送信)]**スイッチを押すと、**[状態表示]**ランプが赤色に点灯します*。
[PTT(送信)]スイッチを押しながらマイクロホン部に向かって呼びかけると、「セクションBリーダー」と通信できます。

*　**[状態表示]**ランプが緑色に点灯中は、キャリアセンス機能によって送信できない場合があります。
その場合は**[状態表示]**ランプの緑色が消灯したあとで、再度**[PTT(送信)]**スイッチを押してください。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。
A-6705H-2J-① Printed in Japan

© 2009–2011 Icom Inc.